

取 扱 説 明 書

C a t c h M e S e r i e s

RD-207 RD-223 RD-208

APPLAUSE SYSTEMS Co.

特長

RD-207 は RD-206 の後継機として、小型・軽量設計を目指し開発された製品です。

- ミキサーのポケットに入るサイズになり、音声出力を再送信することが容易に。
- マイクスタンド等に立てて使用することにより、受信の安定度を確保。
- LED 表示により、グループ・チャンネル切替が容易で、使用チャンネルを目で確認できる。
- ON AIR Key で誤発射を防止。
- RD-207 を、数台使用し、各々のチャンネルを設定することで、同一ロケーションでの複数チャンネルの送り返しが可能。

◆RD-207

●機能

- ・UP⑤ 送信周波数の切り替え。G1-CH1→CH2…G4-CH1→G1-CH1。
- ・ON AIR⑧ ON AIR Key を押すと、選択した周波数を送信する。
- ・LOCK⑩ LOCK Key を ON すると全ての Key のコントロールが利かなくなる。
- ・RD-203・RD-213 RD-203・RD-213・RD-223 の TXPS (ファンタム) スイッチで、RD-207 の電源 ON/OFF、ラストチャンネルの再度発射がリモート操作できる。

●使用方法

1) 電源

① LINE IN ※PH (ファンタム) 12V、②単Ⅲ×2本のどちらかを入れる。

2) パワースイッチ

③[POWER] を 2 秒以上押すと④POWER LED (赤色) が点灯する。

3) UP

受信機RD-208のUPまたはDOWNを押し、使用環境に発射されている周波数が無いか確認する。LEDが止まったところは近くでC型の電波が使用されている可能性があるので使用を避ける。使用されていると思われるCHを除き、同一グループ内で、任意の1波を決めて、送信機RD-207のG-CHを決める。

4) ON AIR

⑧ON AIR を押すと⑨⑨' LED (グリーン) が点灯し電波が発射、チャンネルが決定する。解除は⑧ON AIR をもう一度押す。

5) LOCK (誤作動防止)

⑩ロックスイッチを倒すと、チャンネルが固定し、すべてのキー (Key) は動かなくなる。ロック解除はロックスイッチを OFF にする。

※RD-203・RD-213・RD-223 よりファンタム供給可能です。レベルは-20dB。

●音声入力

音声は①LINE・①①MIC の2系統有り、②、③2連ボリュームでミックスすることが出来ます。

②LINE 入力音量調整ボリュームは内側のツマミで、可変出来ます。

プログラム (放送内容等) を LINE レベルで受けるには①LINE 入力に音声を入力します。

RD-203・RD-213・RD-223 を使用する場合は電源をファンタム供給して下さい。

ファンタム供給の時は-20dB、+4dB の時は MIN 位置で受けることが出来ます。

③MIC 入力音量調整ボリュームは外側のツマミで、①①MIC レベルを受けます。

①①MIC 入力ジャックは、ダイナミック型マイク (MIC ケーブル別売) と ECM (エレクトレットコンデンサー) 型のバックエレクトレットマイク (TSP・RAMSA・SANKEN・SENHEISER) が使用できます。ECM にはファンタム電源を供給します。

④PEAK インジケータが点灯したら過変調ですので、レベルを探りながら調整して下さい。PEAK インジケータでの音量調整は LINE も共通です。

●アンテナ

⑤アンテナは技術基準により取り外し出来ません。

●スタンドネジ

⑥3/8 のネジはスタンドに立てる時、天井から吊す時に使用します。

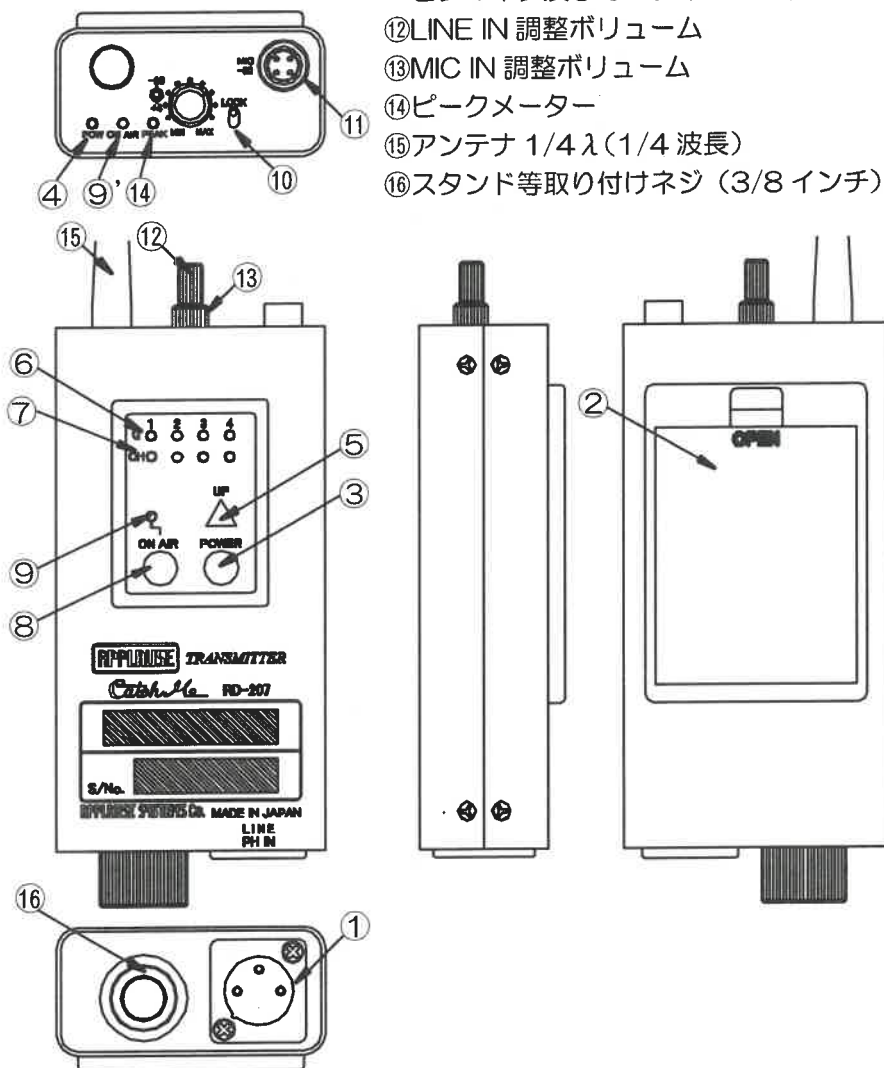
取り外しが出来ませんので注意して下さい。

グループ・チャンネル表

グループ	チャンネル	周波数・MHz
1	1	322.050
	2	322.100
	3	322.250
	4	322.350
2	1	322.075
	2	322.125
	3	322.275
	4	322.375
3	1	322.025
	2	322.150
	3	322.325
	4	322.400
4	1	322.300

●各部の名称と機能

- ①LINE 入力 / ファンタム電源入力ジャック
最大入力レベル +4dB (25dB 可変可能)
RD-203/RD-213/RD-223 出カ-20dB に対応
- ②バッテリー (アルカリ単Ⅲ電池 × 1 本使用)
- ③POWER
- ④POWER LED
- ⑤UP
- ⑥グループ表示 1~4 (表-1 参照)
- ⑦チャンネル表示 1~4 (表-1 参照)
- ⑧ON AIR
- ⑨ON AIR LED
- ⑨' ON AIR LED
- ⑩LOCK
- ⑪MIC 入力ジャック-60dB (TSP・RAMSA 仕様)
最小入力レベル -60dB (25dB 可変可能)
ピンマイク及びオーディオ入力ケーブルに対応
- ⑫LINE IN 調整ボリューム
- ⑬MIC IN 調整ボリューム
- ⑭ピークメーター
- ⑮アンテナ 1/4λ (1/4 波長)
- ⑯スタンド等取り付けネジ (3/8 インチ)



◆RD-223

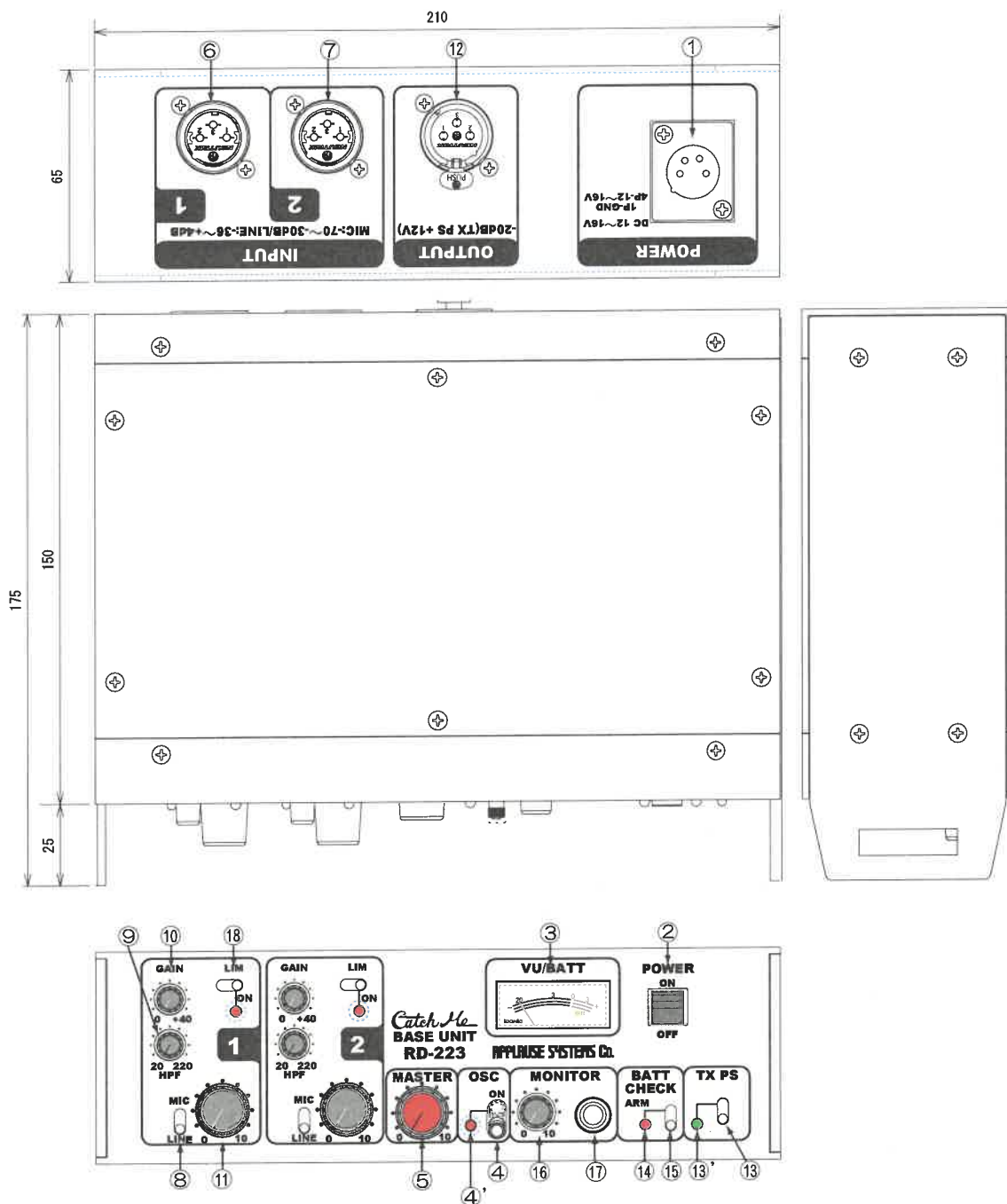
RD-223 は送り返しワイヤレス送信機 RD-207・RD-209・RD-211 と受信機 RD-208・RD-210 をサポートする中継基地として、簡単なミックスが行える2チャンネルミキサーです。

屋外中継等にあたっては、N-1（Nマイナス1）等オーディオレベルの定まっていない信号が送られてくる場合がありますが、LINE から MIC まで、あらゆるレベルに対応できる入力 HA を装備し、音量の微調整を行える監視装置として、メインミキサーの補助的な役割を果たします。

主に音声調整卓からのミキシングソースとトークバックの調整に使用されます。本機から送信機 RD-207・RD-209・RD-211 にファンタム電源の供給を行います。

●使用方法

- 1) 電源は①DC 12V(1P-GND,4p-12 ~ 16V) を使用します。②パワースイッチをONすると③VU計窓が点灯します。
- 2) ④OSC(基準信号)の扱い方
送受信機の検聴をする際、④OSC(1KHz) スイッチを引きながら上にあげると④' LED が点灯し、1 KHz 信号が発信します。⑤マスターボリュームにて「0」VU に合わせます。
- 3) 音声入力⑥、⑦の2つがあります。
音声入力はマイクレベルからラインレベルまで対応できます。⑧MIC では-70 ~ -30dB、LINE では、-36 ~ +4dB の入力を受けられます。いずれも HA GAIN で適切なレベルに調整してください。
- 4) ⑨HPF (ハイパスフィルター) は、風が強い時や吹かれが気になる時に、また音質合わせに使用します。MAX で 220Hz、MIN で 20Hz の周波数を示します。
- 5) 入力ボリュームの調整はあらかじめ ⑩HA GAIN で入力レベルを設定して、⑪入力ボリュームで、微調を行ってください。
- 6) ⑫音声出力は-20dB で出力されます。(トランス出力)
- 7) ⑬TXPS (送信機へのファンタムスイッチ) を ON すると⑬' TXPS の LED が点灯し、送信機へ音声を重畳して電源供給 (12V 出力) していることを示します。
ファンタム電源を送らない場合は OFF にしてください。
- 8) ⑭ARM (バッテリーアーム) は電源電圧 11.0V 以下になると LED が点滅しますので早めに交換をお願いします。
- 9) ⑮BATT CHECK (バッテリーチェッカー) を下に倒すと VU 計に残量が表示されます。
- 10) ⑯モニターボリュームは⑰ヘッドホンの音量を調整するツマミです。
適量で使用してください。
- 11) 各チャンネルに⑱リミッターを設けてあります。過大入力が予想される場合、また、声の大きさが極端に異なる場合、必要チャンネルだけリミッターを ON してください。
スレッショールドレベルは+3dB にセットしてあります。



●各部の名称と機能

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ①DC-12V ~ 16V | ⑧MIC | ⑮BATT CHECK |
| ②パワースイッチ | ⑨HPF | ⑯モニターボリューム |
| ③VU 計 | ⑩HA GINE | ⑰ヘッドホン |
| ④OSC | ⑪入力ボリューム | ⑱リミッター |
| ④' OSC LED | ⑫音声出力 | |
| ⑤マスターボリューム | ⑬TXPS | |
| ⑥音声入力 1 | ⑬' TXPS LED | |
| ⑦音声入力 2 | ⑭APM | |

◆RD-208

ABS樹脂性のボディは、従来の受信機（RD-202）に比べ軽量・コンパクトにまとめられさらに使いやすくなるため、使用チャンネルの設定がワンクリックで済むように設計されています。

●機能

- ・POWER、UP/DOWN、A・SCANスイッチはタクトスイッチを使用し、容易に且つ安全に操作可能です。
- ・オートスキャン機能…本機はチャンネルスキャンをマニュアル又はオートマチックに行うことができバンド間のチャンネル切替が素早く行える高機能を備えています。

●使用方法

1) 電源

- ①電池蓋を矢印の方向にスライドして開ける。
- ②バッテリーBOXにアルカリ単Ⅲ乾電池×1本を、マイナス極を先端にして入れ蓋を閉める。
バッテリーBOX内のバネがある方がマイナスです。

2) パワースイッチ

- ③POWER（電源スイッチ）を1秒以上長押しすると④POWER LED（赤色）が点灯する。ラストチャンネルメモリーのG、CHのLEDが点灯。1秒以上長押しするとOFFする。
- 使用電池の状況により、POWER LEDは下記のように推移します。

十分な電源電圧がある場合→点灯

電池交換時期→遅い点滅

直ぐに利用停止→早い点滅

※なるべく早めの電池交換、また、定期的にアルコールによる電池端子のクリーニングをお勧めします。

3) モード…3つのモードがある。

- 1.MANUAL mode 2.SCAN UP/DOWN mode 3.AUTO mode

3-1.MANUAL mode

- ⑩UPまたは⑪DOWNキーを軽く押すとマニュアルで⑧G(グループ)・CH(チャンネル)を設定することができる。

G・CH表示…UP/DOWNを操作して任意のG・CHにセットすると、LEDが点灯する。

※G・CHが決定したら、⑬LOCK Keyを入れておくと誤作動を防止できる。

3-2.SCAN UP/DOWN mode

UPキーまたはDOWNキーのいずれかを長押し(0.5秒以上)することにより、SCANを開始。発射されている電波を自動でキャッチするとTUNE LEDが点灯し、SCANを停止する。

※LED表示…G・CH、TUNEのLEDは常時点灯する。

3-3.AUTO mode(GOLF mode)

POWERを入れ⑤A・SCANキーを長押し(1秒以上)すると、⑥AUTOが点灯しSCANが開始される。電波を自動でキャッチするとTUNED LEDが点灯し、SCANを停止する。

「その後、電波の強さが弱くなると」、次の電波を自動的にSCANする。

ゴルフ場などの送信エリアをまたぐ際に利用できる。

なお、AUTO modeのSCANは全SCANなので、注意が必要です。

※通常はMANUAL mode、またはSCAN UP/DOWN modeを必ずご利用ください。

4) TUNE

使用環境の中で、使用中の周波数は⑦TUNE LEDが点灯する。

5) LOCK（誤作動防止）

- ⑬LOCKスイッチを倒すと、チャンネルが固定し、すべてのキー（Key）は動かなくなる

●イヤホン出力

- ⑫イヤホン出力は0.1mW（適合インピーダンス8Ω～32Ω）です。

インピーダンスが適合しないと適正レベルが得られない場合があります。又、レベルアップの為にボリュームを上げ過ぎると、音割れや、電池を早く消耗する要因となります。

●アンテナ

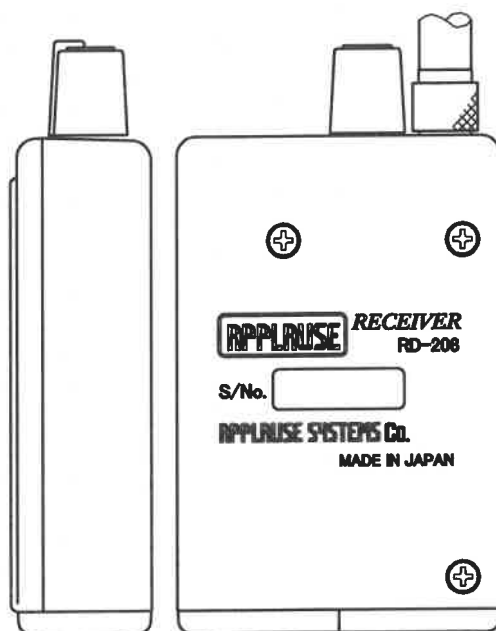
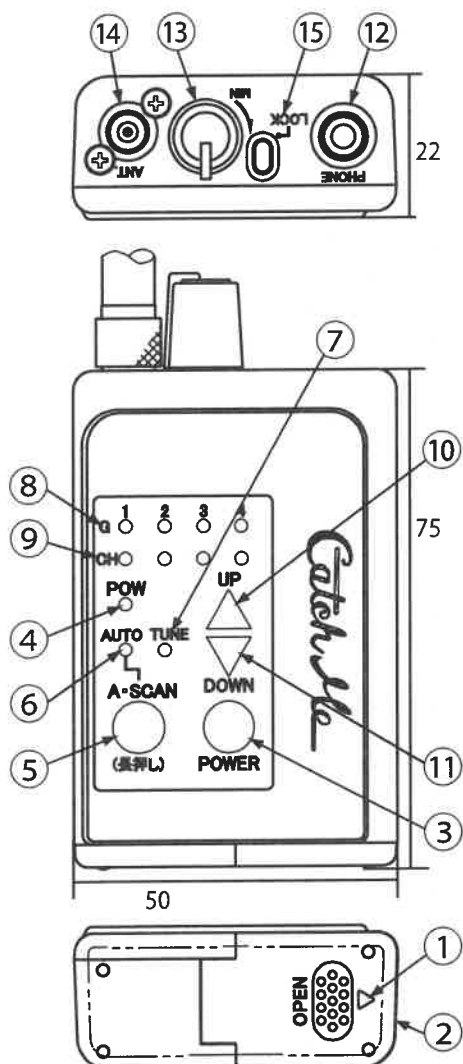
- ⑭アンテナはλ/4ヘリカルアンテナを標準にしています。コネクタはSMA（50Ω）です。322MHz帯に適應するものであれば交換は可能ですが、純正品をお勧め致します。

グループ・チャンネル表

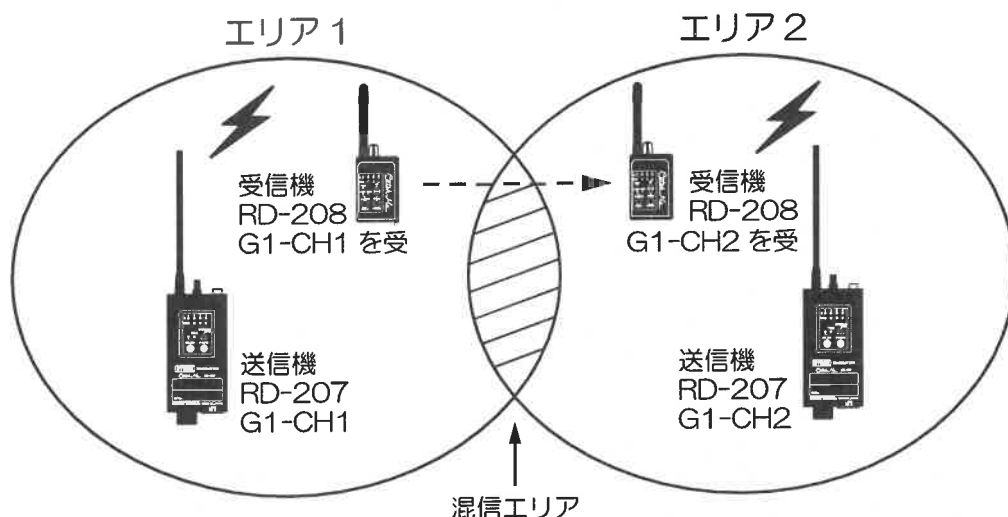
グループ	チャンネル	周波数・MHz
1	1	322.050
	2	322.100
	3	322.250
	4	322.350
2	1	322.075
	2	322.125
	3	322.275
	4	322.375
3	1	322.025
	2	322.150
	3	322.325
	4	322.400
4	1	322.300

●各部の名称と機能

- ①バッテリーボックス開閉蓋
- ②バッテリー（アルカリ単Ⅲ電池 × 1 本使用）
- ③POWER（電源スイッチ）
- ④POWER LED
- ⑤A・SCAN切替スイッチ
（オートスキャン / マニュアルスキャン）
- ⑥AUTO LED：オートスキャン
- ⑦TUNE LED：受信状態
- ⑧グループ表示 1～4（表－1 参照）
- ⑨チャンネル表示 1～4（表－1 参照）
- ⑩UP△：グループ・チャンネル表示 1→4
- ⑪DOWN▽：グループ・チャンネル表示 4→1
- ⑫イヤホンジャック
- ⑬MIN：イヤホン調整ボリューム
- ⑭アンテナ接線：SMA
- ⑮LOCK：誤作動防止



概念図



A・SCAN モードの時、G1-CH1 が完全に離調すると CH2 に切り替わる。
上手く切り替わらない時は電源を一度切り、再投入する。

RD-208をAUTO SCANモードに設定

エリア1 …送信機 RD-207 が G1-CH1 (322.050MHz)

エリア2 …送信機 RD-207 が G1-CH2 (322.100MHz) の場合

受信機 RD-208 を持ってエリア1からエリア2に移動すると、受信チャンネルが自動的に CH1 から CH2 に切り替わり、混信せず連続して指示を受けることが可能である。

これにより受信エリアの増大がスムーズに行える。

特定小電力 1mW 出力のカバーエリアが通常 50 ～ 100m 位であったものが、送信機へのプログラムの送り込みが可能な範囲であれば、広大なオープンエリア（ゴルフ場等）、遮蔽物のあるセットや建物の内や外等、チャンネルの設定により受令者は連続して通過することが可能になった。

※注意

各々の送信機の距離が離れていて、お互いに干渉する範囲が狭い場合は、（図・斜線部分）比較的速やかに切り替わるが、距離が近い場合は容易に切り替わらない。

その場合、RD-208 の電源を一度切り、受信したい送信機の近くで、再度電源を投入すると、強い電波の方を受信することができる。

◆RD-207仕様

空中線電力	1mW
周波数	特定小電力 C型322MHz帯
発振方式	PLL周波数シンセサイザー
コンパンダ	1/2圧縮
電流	乾電池使用時：3V / 外部電源使用時：12V
消費電流	100mA以下（乾電池、外部電源）
バッテリー残量表示	LED点滅
LINE入力コネクタ	XLR32相当
MICコネクタ	Optionケーブル HRS4P（特殊）ワイヤレスマイクケーブル ピンマイクケーブル（ファンタム供給） TSP・RAMSA・SANKEN・SENHEISER
入力レベル	-60、+4dB
持続時間	8時間以上（アルカリ）常温25℃において
電源	単Ⅲ×2本
外部電源電圧	12V
外形	62mm（H）×122mm（W）×28mm（D）
重量	330g（本体のみ）

◆RD-223仕様

入力レベル	MIC=-70dB~-30dB LINE=-36dB~+4dB
入力インピーダンス	MIC/LINE=600Ω
出力レベル	-20dBm
出力インピーダンス	600Ω
周波数特性	50Hz~15KHz

◆RD-208仕様

周波数	特定小電力 C型322MHz帯
チャンネル数	13チャンネル
コンパンダ	1/2圧縮
電流	1.5V負荷 8Ω 0.1mW出力時
バッテリー残量表示	LED点滅
持続時間	10時間以上（アルカリ）常温25℃において
スケルチ	内部で設定
電源	単Ⅲ×1本
外形	75mm（H）×50mm（W）×22mm（D）
重量	59g（本体のみ）

※本機・オプションの仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造元

アプローズシステム 株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田5-3-6 フィールドスリー外神田ビル4F

Tel：03-6284-2915 Fax：03-6284-2916

<http://www.applause-sys.co.jp>